

第七十三回
帝國議會
貴族院

陸上交通事業調整法案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十三年三月二十日(日曜日)午前十時
十三分開會

○委員長(伯爵橋本實斐君) 只今カラ開會
致シタイと思ヒマス

○子爵秋元春朝君 私ハ色々質問ヲ持ッテ
居ッタノデアリマスケレドモ、私ノ質問セ
ムトスル所ハ他ノ委員ノ方々カラ既ニ出シ
マシテ、其ノ御答辯モ伺ヒ、私モ了解致シ
タノデアリマスガ、自動車ノコトニ付テハ
マダ餘リ御質問ガナイヤウデアリマスガ
ラ、此ノ點ニ付テ御伺ヲ致シタイと思ヒマス、
無理ニ大臣カラノ御答辯デナクテモ、政府
委員ノ方ノ御答辯デ結構デゴザイマス、第
一ニ御伺ヒ致シタイと思ヒマスノハ、此ノ
參考書トシテ頂戴致シマシタ既設省營自動
車ノ線ト重複致シテ居リマス所ノ民營自動
車ノ線、ソレカラ又民營ノ自動車ノ線デ重
複シテ居ル線ト云フ、此ノ表ヲ拜見シテビッ
クリシタノデアリマスガ、甚ダシイノハ一
路線六乃至七營業位ノヤウナコトニナッテ
居リマス、随分多イノデ實ハビックリシタノ
デアリマスガ、尙ホ此ノ上ニ東京市トカ、
又大阪、京都市ト云フヤウナ所ニハ遊覽「パ
ス」ト云フヤウナモノガアリマシテ、市外

カラ市内ニ入ッテ來ルモノモアレバ、又市内カ
ラ市外ニ出テ行クモノモアルト云フヤウナ
モノヲ加ヘマスト云フト、一路線十數營業
線ト云フヤウナモノニナッテ居ルヤウナ次
第ダと思ヒマス、是ハ相當重複シテ居ルノ
デ之ヲ御調整爲サルト云フノハ、ドウ云フ
ヤウナ方法デ爲サルノカ、是ハ方法ハ實
際アルカナイカ、常ニ疑フノデアリマス
ガ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノモ、内務省
ガ惡イノカ、鐵道省ガ惡イノカ分リマセス
ガ、内務省ニ言ハセレバ鐵道省ガ勝手ニ許
スカラト言ハレマセウシ、鐵道省ニ言ハセ
レバ内務省ノ地方長官ガ勝手ニ許シタカラ
コンナ結果ニナッタノダト云フヤウナコトニモ
ナルノデナイカト思フ、ソレハ何レニ致
シマシテモ、之ヲ今回調整スルト云フコト
ニナレバ、良イモノハ殘シテ置イテ、惡イモ
ノダケ之ヲ削ッテ行ク、而シテ讓受ノ形式、
式ハ讓渡ノ形式ト云フヤウナコトデ段々減
ラシテ行カウ、サウシテ一路線一營業ニ近
イモノニ致シタイ、斯ウ云フコトニナルダラ
ウト思ヒマスガ、如何ニ是ハ御整理ニナル
カト云フコトガ第一ニ伺ッテ見タイ點デア
リマス、ソレカラ第二ニハ先程申シマシ

ヤウニ、民營ノ方ハ資本モ少イノデゴザイ
マス、又税金モ入ッテ居ル點モアリマス、併
シナガラ政府ノ方ノ省營ニ至リマス、税
金ハナシ、資本ハタツプリ出ス、車體ソノモ
ノニ付テモ立派ナ物ヲ持ット云フヤウナ關
係カラ、段々省營ガ後ニ殘ッテ行ッテ、結局
色々ノ名目ノ下ニ或ハ連絡ニ必要トカ、國
防ニ必要トカ、系絡上是非要ルトカ云フヤ
ウナコトデ、ドン／＼省營ノ方ハ進出シテ
行ッテ、民營ハソレニ負ケテシマッテ結局ハ
民營壓迫ト云フヤウナコトニデモナル處ガ
ナイカ、之ヲ私ガ心配スルノデアリマスガ、
其ノ點ハ如何ニ御覽ニナッテ居ルノデアリ
マスカ、是ガ第二點デアリマス、第三點ニ
ハ一路線一營業ト云フコトモ誠ニ良イ理論
デハゴザイマスケレドモ、餘リ競争線ヲナ
クナシテシマフト、却テ其ノ爲ニ獨占的ノ
性質ヲ帶ビマシテ、從ッテ料金モ非常ニ高ク
ナルト云フヤウナ結果ガ生ズルノデハナイ
カ、又設備其ノ他車體等ニ付テモ配當ノ方
ニ重キヲ置ク爲ニ、修繕モ何モカモ疎カニ
ナル、從ッテ獨占的ト云フコトヲドン／＼
ヤルト云フコトニナルト、車體ハ惡クナル
シ、料金ハ高クナル、從ッテ公衆ヲ便利ニシ

テヤル爲ニ調整シテヤルト云フコトガ却
テアベコベニナリ不便ナモノニナルト云フ
ヤウナ結果ヲ來シハナイカ、此ノ點ヲ伺
ヒタイ、以上三ツノ點ニ付テ誰方カラデモ
宜シウゴザイマス、簡單ニ御説明願ヒタイ
ト思ヒマス

○政府委員(鈴木清孝君) 民間「バス」ノ方
ノ問題ハ私カラ御答ヘ致シマス、御覽ニナ
リマシタ表ニゴザイマスルヤウナ一路線ニ
於キマシテ民間ノ業者ガ數個アルノガ相當
ニアルノデゴザイマス、是ハ先程申シマシ
タ通りニ自動車交通事業法ガ布カレマシテ、
自動車ノ免許ガ鐵道省デヤラレル以前ニ於
キマシテ既ニ營業シテ居ッタモノガ多イノ
デゴザイマシテ、鐵道省ニナリマシテカラ
ト云フモノハ、先般申上ゲマシタ例外ノ外
ト云フモノハ殆ド一路線一營業主義デ以テ
貫イテ居ル、併シナガラ既ニ經營シテ居リ
マシタ一路線ニ付キマシテ數個ノ自動車運
輸事業ガアリマスノデアリマスガ、是モ斯
ウ云フ競争狀態ニ置キマスルコトハ決シテ
望マシイ現象デアルトハ考ヘマセスケレド
モ、地方長官ト緊密ナル連絡ヲ取リマシテ
ソレ／＼整理統制ヲ行ヒツ、アリマシテ、

現ニ省ガ引繼ギマシタ時ニ四千五百バカリアリマシタ自動車路線ガ二千五百位ニ減ッテ居ルノデアリマス、漸次此ノ方針ハ實現サレマシテ、殊ニ地方長官ガ大分骨ヲ折ッテ戴キマスノデ、段々理想的ノ調整サレタ状態ニナッテ行クコト考ヘテ居リマス、モウ一ツノ御尋ハ此ノ一路線一營業主義ハ宜イガ、一路線一營業主義ヲ貫ク時ニ於キマシテハ所謂獨占の傾向カラシテ運賃ノ値上リヲ生ズル傾向ハナイカト云フ御尋、或ハ設備ノ改善ヲ疎カニシテ營利主義ニ走ル虞ナキヤト云フ御質問ノヤウニ伺ヒマシタ、一路線一營業ニナリマスレバ、元ハ數營業デアリマシタノガ、サウ云フ状態ニナリマスレバ經營状態ト云フモノハ前ヨリハ樂ニナリマシテ、從ッテ事業經營者ト致シマシテハ餘裕ガ生ズル譯ナノデアリマス、ソレデアリマスルカラ理窟カラ申シマスレバ、運賃ハ下リコソスレ値上リノ状態ニ行クモノデハナイ、又調整ガ旨ク行ケバ乗替、其ノ他ニ關シテ今迄ハ餘計ナ運賃ヲ拂ッテ居ッテガ、サウ云フコトガ少クナッテ實質的運賃ガ下ッテ行クト、斯ウ云フ風ニ我々ハ考ヘタノデアリマス、併シナガラ所謂獨占ノ惡弊ト致シマシテ、利潤ヲ段々企業者ノ心ニ依リマシテ値上リノ虞ナシトシナイノデアリ

マス、併シナガラ運賃ハ認可事項ニナッテ居リマスノデ、鐵道省ヘ認可ノ申請ガ参リマスルカラ、我々ノ方デ「チエック」スルコトガ出來マス、ソレカラ車體其ノ他ノ改善ノ宜シクアリマセヌ時ハ、我々ハ改善命令權ヲ持つテ居リマスノデ、殊ニ獨占の傾向ノ多イモノニ對シマシテハ十分ナル監視ヲ致シマシテ、其ノ車體ノ改善ヲ促シ、或ハ運賃ノ變更ヲ促スコトガ出來ルト思ヒマス、其ノ弊害ハ之ニ依ッテ十分除去シ得ラレルモノダト考ヘテ居リマス、省營「バス」ノ方ニ關係シマシテハ……

○政府委員(山田新十郎君) 省營自動車ノコトニ付テ御答ヘ致シマスガ、只今省營自動車ノ實施ハ民業ノ壓迫ニナルモノデナイカ、將來鐵道省ガ省營自動車デ以テ獨占スルヤウナコトヲ考ヘテ居ルノカト云フ風ナ御尋ガアツタノデアリマスガ、我々ハ決シテ民業ヲ壓迫スル、或ハ將來省營自動車ヲ以テ獨占スルカ云フ風ナコトハ決シテ考ヘテ居ナイノデアリマシテ、同ジ自動車ト致シマシテモ、省營ト民業トハ多少目的ノ違ッタ點モアルノデアリマシテ、官民共存共榮ノ方針デ参リタイト思ッテ居リマス、現ニ我々ト致シマシテ路線ノ計畫ヲ致シマシタ際ニ、其ノ路線前ニアリマスル民間ノ自動車ガ

立派ナモノデアリ、又我々ガ考ヘテ居ルヤウナ目的ヲ遂行スル上ニ於テモ完全ダト云フヤウナ路線ニ付キマシテハ民間ニ委スト云フヤウニ、十分民間ノ業者ヲ尊重スル考デ居リマス、又現ニ民間ノ業者ト省營「バス」トガ競争シテ居ル、或ハ摩擦ヲ起シテ居ルト云フヤウナ状態ガアルデハナイカト云フ風ナ御尋デアリマシタガ、之ニ付キマシテモ我々十分ニ注意ヲ致シマシテ、業者ト協調ヲ致シテ行キタイト存ジマス、何分省營自動車モ之ヲ實施シテマダ十年ヲ經マセヌノデ、毎年新線ヲ開業シテヤッテ居ルヤウナ状態デ、マダ補償其ノ他ニ付キマシテ民間ノ業者トビツクリ意見ノ合ハナイ所モ二三マダ殘ッテ居リマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ尙將來十分注意致シマシテ、民間ノ業者ヲ尊重シテ参リタイト思ッテ居リマス

○子爵秋元春朝君 詳シイ御答辯ヲ承リマシテ満足ヲ致シマス、尙是等ノ點ニ付テハ十分御注意アラムコトヲ希望致シマス、私ノ質問ハ是ダケデ終リマス

○男爵福原俊丸君 秋元君ノ質問ニ關聯シテ御尋ネ致シマスガ、サウ致シマス、省營自動車ト民業自動車トノ競争シテ居ルノガ、是ハ全國ノモノデアルト思ヒマスガ、此ノ交通事業調整法ガ出來タル場合ニハ、此ノ競争

シテ居ル民業ノ方ヲ止メサシテ省營ニ合併スルトカ、省營ノ方ヲ止メテ民業ニ合同スルトカ、或ハ一緒ニ會社ヲ造ルト云フヤウナ方針、ガ決ッテ居ル譯デスカ、何レトシテモ競争シテ居ル線路ハ其ノ儘デ差支ナイト云フコトニナッテ行キマスガ、ソレガ一間、其ノ次ハ今御答辯ニナッタヤウニ、民業自動車ノ方ガ先ニ出來テ居ル、後カラ省營ガ出來ク譯デ、處デ鐵道ニナルト云フト、豫定線ト云フモノガ決ッテ居ルノデアアルカラ、大體將來ハソコニ出來ルコトガ分ルカラ、ソレヲ承知シテ民業ノモノガ、私設鐵道ガ出來ルノダカラ、後カラ出來テモソコニ入り合ッテ行クノデアルケレドモ、自動車ノ方ニハ自動車網ト云フモノハ別ニ決ッテ居ラヌカラ、民業ノモノガ出來テ居ル、後カラ省營ヲヤルト云フト、ドウシテモ民業ノモノガ壓迫サレルコトハ事實ナンドカラ、サウスルト此處ニ列記サレテ居ル線路ハ、今迄ヤッテ居ッタ民業自動車會社ニ色々注意タシケレドモ、十分ニ車體ノ改良モシナケレバ、料金モナカ／＼下ゲナイ、獨占的ニヤッテ居ッテイカスカラ、ソレデ省營モソレニ入込ンデ行ク、省營ヲ經營スルヤウニシタト云フ譯デアアルカ、大體各線ニ付テノ實際状態ヲ御説明ヲ願ヒタイ、私共ハ實際状態ヲ能ク知リマセヌケ

シテ居ル民業ノ方ヲ止メサシテ省營ニ合併スルトカ、省營ノ方ヲ止メテ民業ニ合同スルトカ、或ハ一緒ニ會社ヲ造ルト云フヤウナ方針、ガ決ッテ居ル譯デスカ、何レトシテモ競争シテ居ル線路ハ其ノ儘デ差支ナイト云フコトニナッテ行キマスガ、ソレガ一間、其ノ次ハ今御答辯ニナッタヤウニ、民業自動車ノ方ガ先ニ出來テ居ル、後カラ省營ガ出來ク譯デ、處デ鐵道ニナルト云フト、豫定線ト云フモノガ決ッテ居ルノデアアルカラ、大體將來ハソコニ出來ルコトガ分ルカラ、ソレヲ承知シテ民業ノモノガ、私設鐵道ガ出來ルノダカラ、後カラ出來テモソコニ入り合ッテ行クノデアルケレドモ、自動車ノ方ニハ自動車網ト云フモノハ別ニ決ッテ居ラヌカラ、民業ノモノガ出來テ居ル、後カラ省營ヲヤルト云フト、ドウシテモ民業ノモノガ壓迫サレルコトハ事實ナンドカラ、サウスルト此處ニ列記サレテ居ル線路ハ、今迄ヤッテ居ッタ民業自動車會社ニ色々注意タシケレドモ、十分ニ車體ノ改良モシナケレバ、料金モナカ／＼下ゲナイ、獨占的ニヤッテ居ッテイカスカラ、ソレデ省營モソレニ入込ンデ行ク、省營ヲ經營スルヤウニシタト云フ譯デアアルカ、大體各線ニ付テノ實際状態ヲ御説明ヲ願ヒタイ、私共ハ實際状態ヲ能ク知リマセヌケ

レドモ、省營「バス」ニ對スル苦情ハナカ／＼アルヤウデアリマスカラ、此ノ際十分納得ノ行クヤウニ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(山田新十郎君) 省營自動車ト

民間自動車トノ並行區間ニ付キマシテハ、是ハ路線ガ獨リ省營ト民間トノ場合バカリデハナイト存ジマスガ、非常ニ此ノ路線ガ複雑シテ居リマスノデ、起終點ハ全然省營ト民間トガ同ジデアルト云フ例ハ、差上ゲマシタ奥能登線、是ガ省營ト民營ガ殆ト同ジデアリマスガ、其ノ他ハ全部必ズシモ並行シテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、茲ニ差上ゲマシタノハ、斯ウ云フ風ナ重複區間ノ相當アル所ヲ舉ゲタノデアリマス、只今御話ノ既ニ民營ノ自動車ガ存在ヲシテ居リマシテ、後カラ省營自動車ヲ經營ヲ致ス場合ニ、ドウシテモ民營自動車ニ影響壓迫ヲ及スノデハナアカト云フヤウナ御説デアリマシタノデアリマスガ、先日モ申上ゲマシタヤウニ、省營自動車ハ必シモ其ノ地方バカリノ交通ヲ目的トシテ居ルノデハナイノデアリマシテ、其ノ他既設ノ鐵道線、或ハ既設ノ省營自動車線ト連絡ヲ致シマシテ、是ト相共ニ國家交通ノ系絡ヲ整備スルト云フ使命ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、從ッテ必シモ民營自動車ヲ全部廢止シテシマフト云フ考ハ決シ

テ持ッテ居ラナイノデアリマシテ、民營自動車ト協調シテ參ッテモチットモ差支ナイト、斯ウ感じテ居ル次第デアリマシテ、或ハ民營自動車ノ中ニハ補償ヲ得テ止メラレル會社ガアルノデアリマシテ、假令止メラレナイトシテモ省ト並行シテ同時ニ營業ヲシテ居ル、詰リ並行シテ營業シテ居ル際ニモ、出來ルダケ省トシテハ協調ヲ致シタイト存ジテ居ル次第デアリマシテ、特ニ最近ハ「ガソリン」規定ト云フヤウナ問題モ起キテ來マシタヤウナ次第デアリマシテ、益々民間ト協調シテ參ラネバナナイト云フ風ニ感じテ居ル次第デアリマシテ、具體的ニ業者トハ尙能ク協調ヲ致シタイト感じテ居ル次第デアリマス

○男爵福原俊九君 今ノ私ノ質問ニ對スル

一部ヲ御答辯ニナリマシタガ、サウ致シマスト云フト、此ノ法案ガ出來タ時ニ此處ニ舉ッテ居ルモノデ穴水能登錄ダケハ全然同ジ線路デヤッテ居ルカラシテ、是ダケハ何等カノ形ニ變ヘラレテ雙方共圓滿ナ解決ガ付クヤウニナッテ居ル、ソレカラ又外ノ線路ニシテモナカ／＼私共ハ、今ノ御話ノ起點ト終點ガ違フカラシテ、其ノ間ガ詰リ一緒ニナルハ、デ雙方共相當ナ距離デアッテ一緒ニナルテ居ル路線ガ短ケレバ大シタ影響ハナイケ

レドモ、一緒ニナッテ居ル線路ガ相當ニ長ケレバ、所謂ソレナドハ寧ロ共同シテ一ツノ會社ニシタ方が、鐵道デ出資シ、サウシテ半官半民ノヤウナモノニスルコトガ矢張り宜イノデナイデスカ、サウ云フヤウナ御考ハ、此ノ此處ニ舉ゲラレテ居ル重複シテ居ル線ニ對シテ何カ大體ノ具體的ノ案デモオアリデアリマスカ、ソレハマダ考ヘテ居ラレスノデスカ

○國務大臣(中島知久平君) 其ノ重複シテ

競争形態ニナッテ居ルヤウナ場合ハ、矢張り此ノ調整法ノ趣旨ニ依ッテ調整シテ行キタイト考ヘテ居リマス、調整ノ形式ハ民間ノ自動車ト省營自動車トアル場合ニハ矢張り或ハ省營自動車ヲ參加サシテヤル場合モアリマスシ、又民間ノ方ヲ省營自動車ニ吸收スル場合モアルト考ヘテ居リマス、矢張り調整シテ行カウト考ヘテ居リマス

○男爵福原俊九君 モウ少シ詳シク承リタ

イケレドモ、實際詳シイコトヲ御話ニナルコトハムツカシイト思ヒマスカラ、ムツカシイト云フノハ詰リ御考ガアッテモ今此處デドウスルトカ云フコトヲ言フト、矢張りソレガ實施サレル時ニ色シナ障害ガ起ルト思ヒマスカラシテ、ソレダケノ御話ヲ承ッテ私ハ質問ヲ止メマス

○子爵秋元春朝君 此ノ省營自動車ノ根本

ノ問題ニ付テ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、頂戴致シタ此ノ表ニ依リマススト云フト、殆ド日本全國ノ到ル所ニ自動車ガ經營サレテ居ルヤウナ状態ニアルト私ハ思フノデアリマス、サウシマススト云フト今後省營ノ「バス」ヲヤル所ガ殆ドナイノデヤナйкаト私ハ思フノデアリマス、若シモ鐵道省ガ省營「バス」ヲ經營スルコトニナリマススト云フト、當然今迄ノ民營ノ「バス」ト競争スルヤウナ場所デナケレバ行ヘナイト云フ結果ニナリハセヌカト思フノデアリマス、サウシマススト云フト將來ハ省營ノ「バス」ト云フコトガ殆ド行ハレナイコトニナリハセヌカト思フノデアリマス、ソレデ今日鐵道省デ省營ノ計畫ヲ爲サッテ居ル所ガ今オアリニナルノデスカ、又將來ドウ云フ風ナ省營「バス」ニ付テノ御考ヲ持ッテ居ラレルノデスカ、モウ殆ド日本全國到ル所ニ此ノ「バス」ノ營業ガ行ハレテ居ルノデスカ、其ノ上ニ省營ノ「バス」ヲヤルト云フコトハ殆ト不可能デヤナйка、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○國務大臣(中島知久平君) 民間ノ「バス」

自動車等ガ發達致シマシテ、ソレデ十分ナ交通ノ目的或ハ其ノ地方發達ノ希望ガ達シ

得ラレルナラバ、ソレニ越シタコトハナイ
ノデアリマシテ、決シテサウ云フ場合ニハ、
其ノ間ニ省線自動車ヲ割込ンデ行クト云フ
コトハ致サナイ考デアリマス、今日迄省營自動
車ヲヤリマシタノハ、最初ハ鐵道豫定線デ
アリマシテソレ等ガ是非早ク鐵道ヲ敷イテ
吳レト云フヤウナコトガアツテモ、色々豫
算ヤ何カノ都合デヤレナカッタ、ケレドモ
其ノ所ヲ構ハズニ置クト云フ譯ニモイカヌ
カラ、鐵道建設ノ先行トシテ他ノ民間ノ自
動車會社ヲ以テシテハ到底建設モ出來ナケ
レバ、營業モ成立タヌト云フ所ニ自動車ヲ
通スト云フコトガ始リデアツクノデスケレ
ドモ、未ダ民間自動車ノ發達セヌ時代デア
リマシタカラ、成ルベク鐵道省ノ省營「バス」
ヲ通シテ吳レト云フノデ、普通ノ線ニ對シ
テモ非常ニ地方民ノ要求ガ多カッタノデア
リマスノデ、ツイアチラコチラニモ出テ行ッ
タヤウナコトモアルノデアリマス、段々ト
民間ノ方ガ發達シテ參リマスレバ、普通路
線ニ對シテ一般ニ省營「バス」ヲ運行スル必
要ハナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

ガ出來タ爲ニ民間ノ經營ガ壓迫セラレテ、
非常ニ困ルト云フヤウナ陳情ノ方ガ多イヤ
ウニ思ハレルノデアリマス、今ノ大臣ノ御
話デゴザイマスと云フト、サウ云フ省營ヲ
ヤツテ貫ヒタイト云フ希望ノ結果ヤツヤウ
ニ御話デゴザイマシタケレドモ、省營「バス」
タ爲ニ却ッテ民間ガ壓迫サレテ、サウシテ中
ニハ甚ダ營業ニ困ッテ來ルト云フヤウナノ
ガ寧ロ多クハナイカト思フノデアリマス、
ソレデアリマスカラシテ、ドウシテモ今後
ニ於テハ省營ト云フモノハ殆ド出來ナイコ
トニナリハセヌカ、ヤレバ必ズ民間ノ……
民營ヲ壓迫スルト云フ結果ニナリハセヌカ
ト思フノデアリマス、サウシマスと云フト
鐵道省ノ省營「バス」ト云フモノハ全然行
ハレナイ、斯ウ云フ結果ニナリハセヌカト
實ハ思フノデアリマスガ、尙其ノ點一ツ御
考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(中島知久平君) 只今申上ゲマ
シタ通りニ民間ノ「バス」ガ發達シテ參リマ
スレバ、省營「バス」ヲヤル必要ハ普通ノ線
路ニ對シテハナイト思ッテ居リマスガ、現在
デモ私ハ大臣就任以來數線以上ニナリマス
ガ、ドウシテモ省營「バス」ヲヤツテ吳レト云
フヤウナコトデ、非常ニ強イ陳情ガ土地ノ
一般民衆及ビ又縣當局等カラ言ッテ來ルノ

ガアルノデス、ソコニハ矢張り民營「バス」
ガアルノデス、アルノダケレドモ、ドウモ
マア施設其ノ他ノコトガ地方ノ人達ノ希望
ヲ滿ス程度ニ行ッテ居ラス、是デヤ困ルカラ
シテ是非省營「バス」ヲヤツテ吳レト云フヤ
ウナコトヲ言ッテ來ル、デ其ノ實際自動車ヲ
經營シテ居ル方ノ側ノ人ハ反對ヲシテ來ル
ト云フヤウナ所ガアルノデスガ、マア大體
ソナヤウナコトガ段々重ッテ行ッテ地方民
ノ要求ガ多クナツテ、遂ニ省營「バス」ヲヤ
タト云フコトガ今迄ノ實情デアラウト思フ
ノデスガ、現在鐵道省トシテハ色々ノ要求
等モアリマスケレドモ最近ハソレヲ差控ヘ
テ居ルヤウナ次第デアリマス

○子爵秋田重季君 御話ハ能ク了承致シマ
シタガ、此ノ根本ノ問題トシテゴザイマス
ネ、將來成ルベク此ノ省營ノ自動車デ以テ
進ンデ行クカ、或ハ成ルベク民間ノ營業ニ
依ッテヤラセルカト云フ其ノ何レヲ取ルカ
ト云フ御考ダケヲチヨット伺ッテ置キタイト
思ヒマス

○國務大臣(中島知久平君) 矢張り普通ノ
路線デ民間ノ自動車デヤツテ行ケル所ハ成
ルベク民間ノ自動車ニ委セルノガ至當ト考
ヘマス、又只今申上ゲマシタ通り、新シイ
路線デ鐵道ヲ敷イテヤルベキ所デアルガ、

豫算ノ關係上敷ケナイ、サウ云フ所デスカ
ラ現在ハ交通量ハ餘リナイ、從ッテ民間ノ營
業者ヲシテハ到底建設ノ出來ナイ、ヤツテ行
ケナイト云フヤウナ場合ニハ已ヲ得ズ省營
自動車ヲ運行スルト云フコトガ原則デハナ
イカ、大體ソナヤウナ方針デ行カウト考
ヘテ居リマス

○子爵會我祐邦君 或ハ私ノ伺ヒマスコト
ハ既ニ御質問ガアツタカ存ジマセヌガ、屢、缺
席致シマシタ爲ニ若シ聽カレテ居リマシタ
ナラバ私ハ其ノ質問ヲ打切りマス、詰リ此
ノ法案ガ通過シマシタ後ニ於キマシテハ、
新シイ線路ト云フモノヲ詰リ交通上非常ニ
不便ナ所ニアルケレドモ、其處ニハ東京市
ナラ東京市、大阪ナラ大阪、其處ニハドウ
モ交通ノ便ガナイ、不便ナ所デアルカラ、
ソナヤウナ所ノ所謂新線路ヲ開クコトヲ
公益上ノ立場カラ御命令ニナルコトガ出來ル
ヤウニハ勿論ナツテ居ルト思ヒマスガ、ソレヲ
爲サル御積リガアルヤ否ヤト云フ點ガ一ツ、ソ
レカラモウ一ツハ其ノ改正後ニ於キマシテ新シ
ク又新線路ヲ許可サレルヤウナコトガ或事情
ノ爲ニアリ得ルヤ否ヤ、是ハ絶對ニナイト云
フコトヲ仰シヤラレルコトガ出來マスヤ否
ヤト云フコトヲ承リタイ、今日此ノ法案ガ
出ナケレバナラヌト云フ事情ニ立至リマシ

タモノハ、詰り過去ニ於キマス所ノ或ハ情
實或ハ色々ナ因縁ノ爲ニ澤山ノ自動車「バ
ス」或ハ電車等ガ突然許可サレタヤウナ場
合ガ澤山アル、現ニ青「バス」ガ許可サレマ
シタノガ大正七年東京市會ニ之ヲ掛ケテ市
會ニ相談スルト云フ二日前ニ於テ突然許可
サレタト云フヤウナ例ガゴザイマシテ、其
ノ他サウ云フヤウナ例ガ多アルヤウニ聽
イテ居リマス、詰リ情實ノ然ラシムル所ニ
加ヘテ、或ハサウ云フヤウナ突然横カラ來テ
許可ヲ得タヤウナ事實デアルノデス、是ガ
愈々施行サレルニ至リマシテハ、今後ハサウ
云フヤウナ指定サレマシタ交通整理ノ權限
内ニ於キマシテ、新シイ線ハ其ノ事情ノ如
何ニ拘ハラズ許可シナイト云フ御方針デア
リマスカ、又其ノ不便ナ所ニハ、其ノ算盤
ガ採レナイヤウニ思ハレル場合ニ所謂交通
線ヲ指定シテ其處ニ新シイ新線ヲ敷設スル
コトヲ御命ジニナル積リデアリマスルガ、
其ノ點ヲ御伺シテ置キタイト思ヒマス

マスコトデアリマスノデ、現在ノ立法例ニ
於テハナイノデゴザイマス、併シナガラ調
整法ニ依ッテ調整セラレテ、殊ニ大都市ニ於
キマシテ包括會社ノヤウナモノガ設立セラ
レマストシテモ、其ノ會社ナルモノハ假令
會社デ設立サレマシテモ、公共的ト申シマ
スカ、公益的ト申シマスカ、其ノ使命ヲ大
イニ全ウシ得ラレルヤウナ状態ニアルト思
フノデアリマス、又經費モ前ヨリ餘裕ガ出
マスノデ、從ッテ若シモサウ云フ新シイ土地
ニ線路ヲ敷設スベキ必要ガアレバ、監督官
廳トシテハ之ヲ能ク誘導シ、サウシテ敷設
シ得ラレルヤウニ實際問題トシテハナリ得
ルト思フ、殊ニ大都市ニ於キマシテ近郊ニ
於キマシテハ直グニ或ハ目算ト言ヒマス
カ、經費ガ償ヒ得ナイト致シマシテモ、サ
ウ云フ線路ヲ敷設スルヤウナ必要ノ場所デ
アリマスレバ、數年ヲ出デズシテ經費ヲ償
ヒ得ラレルモノト思ヒマスカラ、實際上ノ
指導ヲシテサセル上ニ於テモ決シテサウ難
カシイコトデヤナイト思ヒマス、ソレカラ
モウ一ツノ御質問ハ包括セラレタル會社ガ
出來タノニ、更ニ新シク免許ヲスルカト云
フコトデゴザイマスガ、ソレハサウ云フ場
合ガアリ得ルノデアリマス、從ッテ此ノ法案
ニ於テモ調整セラレマシタル區域ニ於テ新

シク免許スル特許ヲ致シマス場合ニ於テ、
重大ナルモノハ交通事業調整委員會ニ掛ケ
ルヤウニナッテ居ルノデアリマスガ、ソレハ
今御質問ノアリマシタヤウナ状態、即チ新
シキ新開地ト言ヒマスカ、或ハ新住宅地ト
言ヒマスカ、サウ云フモノガ土地ノ發展ニ
連レテ出來テ參リマス時ニ、サウ云フ方面
ニ高速ノ交通機關ヲ敷設スル、今迄ナカッタ
ノヲスルト云フ斯ウ云フヤウナ場合ガアリ
マスノデ、調整區域内ニ於キマシテモ此ノ
新シイ交通機關ヲ免許スル場合ガアリ得ル
ト思フ、又既ニ調整セラレタ區域内ニ於キ
マシテモ道路ノ改修ト云フモノガ頻繁ニ行
ハレマスノデ、其ノ道路ノ改修ニ連レテ自
動車ノ路線ト云フモノガ直グ變リマス其ノ
關係上、路線ノ變更デナクテ、新シイ免許
ト云フモノガ相當ニアリ得ルト思フ、從ッテ
サウ云フ場合ニ於キマシテ重要ナルモノハ
調整ノ趣旨ヲ重ジマシテ、此ノ委員會ニ掛
ケテ十分御審議ヲ願ッタ上デ免許シタイ、斯
ウ考ヘテ居リマス

○子爵會我祐邦君 ソレガ私ノ伺ヒタイ詰
リ疑問デアアルノデス、今日はガ出來テモ或ハ
此ノ調整區域内ニ於テ、地域内ニ於テモ或
ハ少シ郊外ノ寂シイヤウナ所ニ於テモ交通
ヲ許サナケレバナラヌヤウコトガアレバ許
スカモ知レマセヌ、許シテ居ル間ニ段々交
通ト云フコトガ人間ヲ引付ケテサウシテ段
々繁華ニナッテ、繁華ニナッテ益々繁華ニナッ
テ來レバ、詰リ言ヒ換ヘレバ今日不安ノ出
來ル現狀、混亂状態ニ陥ッテ居ルヤウナ
姿ニ化スル、遠キ將來ニ於テハ見込ガア
ル方ハ之ヲ地域内ニ於テ之ヲ公營デア
ルカ或ハ市營デアアルカ存ジマセヌガ、何方
ニシテモ是ガ許可サレルト云フコトハ餘
リ頻繁ニヤッテ居ルト、到頭矢張り今日之
ヲ出サレタト同ジヤウナ状態ニ陥ル處ガ
私ハ明カニアルト思フノデアリマス、少ク
トモ交通地域内ニ於テ許可スルト云フコト
ハ非常ニムツカシイト云フコトニシナケレ
バナルマイト私ハ思フノデゴザイマス、交
通ガ出來タ、人口ガ殖エタカラ益々繁華ニ
ナッテ來ル時ハ、或ハ丁度東京ノ郡部ノ新
宿カラ先ノ方ノ所ト同ジヤウナ状態ニナッ
テ行キマスカラ、此ノ點ニ於テハ只今ノ御
答辯デハ委員會ニ掛ケテ委員會ニ諮問スル、
併シ昨日ノ御答辯デハ委員會ハ諮問機關デ
アッテ決議機關デナイ、其處ニ於テ委員會ハ
反對スル、當局ハ之ヲ許可スルト云フヤウ
ナ立場ハ必ず到來スル處ガアル、ソコニ於
テ委員會ノ權限ト云フモノヲ又再ビ伺ハナ
ケレバナラスコトハ、ソコニ十分尊重スル、

又其ノ決議ニ敬意ヲ拂フト仰セラレマスケ
レドモ、ドノ邊ノ程度迄カ、御都合ノ好イ
範圍ノ時ダケハ敬意ヲ拂ハレテ、御都合ノ
悪い時ニ敬意ヲ拂ハレナイト云フコトハ有
リ得ルコトデアリマスカラ、非常ニ恐ルベ
キ點ダラウト思フ、此ノ點ニ付テ實ハ御答
辯ヲ伺フコトハムヅカシイコトカモ知レマ
セヌ、併シ少ク共其ノ決心ノ強キモノヲ、
御答辯ヲ得タイト私ハ思フ、何方デモ宜シ
ウゴザイマス

○國務大臣(中島知久平君) 一旦調整セラ
レタル區域内ニ於キマシテモ、矢張り事ノ
變化ニ依ッテ新シイ線ヲ許可シナケレバナ
ラス場合モアリマセウシ、又事情ノ變化ニ
應ジマシテハ段々ト新線ヲ増シテ行クヤウ
ナ必要ガ来ヨウト思ヒマスカラ、是ハ矢張
リ此ノ調整ノ趣旨ニ則ッテ、決シテ再ビ調整
ヲ行フヤウナ必要ヲ生ズルヤウナコトニハ
ナラナイヤウニ注意シナケレバナラスコト
ハ當然ト考ヘルノデアリマス、從ッテ此ノ調
整致シマシタ區域内ニ於ケル新シイ線路
ハ、矢張り調整委員會ニ御諮リシテ許スト
云フコトニスルヤウニ、慎重ニ考ヘテ居ル
譯デアリマス、勿論此ノ調整委員會ノ意見
ヲ尊重シマシテ、再ビ調整ノ必要ノ起キナ
イヤウニ注意シテ行キタイコトヲ申上ゲテ

置キマス

○子爵會我祐邦君

ドナタカ御伺ヒニナッ
タカ知レマセヌガ、委員會ノ内容ト云フモ
ノニ付キマシテハ、ドウ云フヤウナ風ニ御
作リニナリマスルノデアリマスカ、國家總
動員ニ於キマシテハ政府ガ其ノ内容ニ付テ
或數字ヲ示シテ居リマスヤウニ記憶シテ居
ル、而シテ之ニ於テハ何等ノ御示シガゴザ
イマセヌガ、若シ伺フコトガ出来マシタラ
バ、或ハ實業家ガ何分ノ一デアルトカ、或
ハ代表官吏ガ何分ノ一デアルトカ、或ハ貴
衆兩院ガ何分ノ一デアルトカ云フヤウナコ
トノ數字ヲ、伺フコトガ出来マスレバ參考
ニ伺ヒタイト思ヒマスルガ、是ガ御困リデ
ゴザイマスレバ敢テ是ハ伺ヒマセヌ
○國務大臣(中島知久平君) 此ノ委員會ノ
構成ニ付テハ大體貴衆兩院議員、學識經驗
アル方々、ソレカラ關係各省ノ官吏等ヲ以
テ構成スル考デゴザイマス、又地方地方ニ、
或地域ノ調整ヲスルト云フヤウナ場合ニハ、
矢張り其ノ地方ニ於ケル有力者、事情ニ精
通シタ者ヲ臨時委員トシテヤルト云フ位ナ
所デアリマシテ、マダドウ云フ者ガ何名ト
云フ風ナコトハソレハ決ッテ居ラスノデア
リマス

○子爵會我祐邦君

サウ致シマスルト、此

ノ法案ガ通過シタ後ニ於テソレ等ノ内容ニ
付テ御檢討ナサラウト云フ御思召デゴザイ
マスネ

○國務大臣(中島知久平君)

其ノ考デ居リ
マス

○丸山鶴吉君

只今會我子爵ノ御質問ニ關

聯シテモウ一應御確メヲシテ置キタイト思
フノデスガ、調整區域内ニ新シイ陸上交通
事業ノ經營ノ免許、又ハ特許ヲ爲サイマス
場合ノ生ジマスコトハ勿論想像ガ出来ルノ
デアリマス、只今大臣ノ御答辯ニモアリマ
シタガ、再ビ調整ヲ要スルヤウナコトノナ
イヤウニ致シタイト、斯ウ云フ御趣旨デゴ
ザイマシタノデアリマスガ、サウ致シマス
ト、政府ニ於ケレマシテハ調整區域内ニ於
キマシテハ調整ノ結果出来マシタ會社デア
ルトカ、或ハ其ノ調整ノ趣旨ヲ奉ジテ、交
通事業ノ中心トナッテ居ルモノニ主トシテ
特許又ハ免許ヲ與ヘラレテ、新シク他ニ出
來ルモノニハ何等御許シニナラスト、斯ウ
云フ御方針ノヤウニ伺ヒマスガ、再ビ調整
ヲ要スルヤウナコトガナイヤウニスルト云
フコトハ考ヘラレナイヤウニ思フノデアリ
マスガ、大體サウ云ツタ趣旨デ御取扱ニナ
ル御方針デゴザイマスカ

○國務大臣(中島知久平君)

大體斯ウ云フ

風ニナッテ居ルコトト考ヘテ居リマス

○丸山鶴吉君 了承致シマシタ

○政府委員(鈴木清秀君)

只今ノ御言葉ニ

補充的ニ申上ゲマスガ、名古屋及ビ札幌
ガ市内ノ交通機關ヲ大體統一シマシタ時ニ、
鐵道省ト致シマシテハ、此ノ名古屋市及ビ
札幌市ノ統制ノ趣旨ニ反スルヤウナ免許ハ
シナイト云フコトヲ申傳ヘテ居ルノデアリ
マシテ、其ノ方針デ矢張り進ミタイト思ッテ
居リマス、斯ウ云フ行政的ノ方針ヲ示シテ
居リマス

○委員長(伯爵橋本實斐君)

大體御質疑モ

一應ハ御済ミニナリ……、マダオアリニナル
カトモ存ジマスルガ、茲デ暫ク速記ヲ止メ
マシテ、懇談ヲ願ッタルドウカト思ヒマス
テ……

○子爵秋元春朝君 贊成

○委員長(伯爵橋本實斐君)

速記ヲ止メ

テ……

午前十時五十六分懇談會ニ移ル

午前十一時十三分速記開始

○委員長(伯爵橋本實斐君)

速記ヲ始メ

テ、ソレデハ是デ質問ヲ打切りマシテ、直
チニ討議ニ入リタイト思ヒマス

○子爵秋元春朝君

討議ニ入ル前ニ一ツ大

臣ノ言明ヲ求メテ置キタイト思ッテ居リマ
ス、此ノ問題ハ御承知ノ通り衆議院修正ノ

二項、之ニ付テ貴族院が同意ナラバ政府ハ同意ヲ表スルト云フヤウナコトヲ仰シヤッタヤウニ記憶シテ居ルノデアリマスガ、此ノ二ツノ修正ニ貴族院が若シ賛意ヲ表シタ場合ニハ之ニ對シテ御同意ヲ爲サルカドウカ、ソレヲ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(中島知久平君) 貴族院ニ於キマシテ衆議院ノ修正通りニ御修正ニナリマシタ場合ニハ、此ノ修正ヲ尊重致シマス

○子爵會我祐邦君 私ハ本案ノ先日來ノ質問應答ヲ承リマシタ、又之ヲ讀ンデ見マスト隨分不明ナ點ガアルヤウデアリ、實ヲ申シマス、モウ少シハッキリシテ戴キタイ、又御説明ニ於テモ、モウ少シハッキリシタ所ノ御説明ヲ得タイヤウナ點モゴサイマス、之ヲ能ク檢討致シマシタラバ、或ハ此處ヲ斯ウ云フ風ニ修正シタラバハッキリシハシナイカ、此處ヲ斯ウシタラト云フ點モナイデハナイノデアリマス、併シナガラ大體ニ於キマシテ衆議院ノ修正點ハ政府モ御同意爲サレルト云フコトヲ御言明爲サツタ後ニ於キマシテハ、此ノ法案ヲ實施セラル、ニ當リマシテ、我々ハ前提トシテ政府ヲ信賴シテ此ノ委員會ノ人選、其ノ他此處デ御言明ニナリマシタ責任上ノコトニ付テ疑ナク信賴スルコトガ出來ルト云フコトヲ前提

ト致シマシテ、私ハ此ノ衆議院ノ修正ニ同意致シマシテ、此ノ本案ニ賛成スル次第デゴザイマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 他ニ御發議ニナリマセヌカ

○男爵大藏公望君 私モ此ノ法案ニ賛成スル者デアリマスガ、唯度々大臣ノ御言明ガアリマシタヤウニ、省線ヲ將來出來ルダケ調整ノ中ニ入レルト云フ氣持ヲ今後シカリト御實行ヲ願ヒタイ、又調整委員會ノ構成ニ付テハ、官吏ヲ主トセズシテ、官吏以外ノ人々ヲ主トシテ、ソレニ依ッテ公正妥當ナ判斷ガ出來ルヤウナ仕組ニ願ヒタイト云フコトニ關シマシテハ大臣モ既ニ御同意ニナツタヤウデアリマスノデ、ドウカ其ノ構成ニ際シテハ十分ニ其ノ御考慮ヲ願ヒタイト云フコト、及自動車ノ一路線一營業者ニ關シマシテハ、獨占ノ性質ヲ與ヘテ惡イモノデモ之ヲ繼續セシメルコトハ無論イカナイコトデアリマスケレドモ、「ガソリン」ノ消費節約若シクハ無用ナル二重投資防止ト云フ立場カラ言ヒマシテ、出來ルダケ省線ノ「バス」竝ニ私營ノ「バス」ヲ合セマシテ其ノ方針ヲ貫イテ戴キタイト云フコトニ關シ、是亦十分ニ大臣ノ御言明ガアリマシタガ、之ヲ十分ニ御尊重下

サルト云フコトヲ信ジマシテ此ノ案ニ賛成スル者デアリマス

○八田嘉明君 私モ本案ニ賛成スル者デアリマス、唯二三本案ノ審議ニ際シマシテ得マシタ知識ニ依リマシテ一二希望ノ意味ヲ以チマシテ賛成旁、二三申上ゲタイト思ヒマス、審議ノ進行中ニ伺ヒマスルト、只今モ會我子爵カラ御話ガアリマシタ通り、細カイ點ニ付テ審議ヲ致シマスレバマダ多々アルト思ヒマス、併シソレハ實際ノ運用ニ關スルコトデアリマスルカラ、一二政府御當局ニ既ニ成案ガ十分オアリニナルコト察シマシテ、サウシテ之ニ信賴スルト云フコトハ全ク會我サント同意見デアリマス、唯特ニ申上ゲテ見タイト思フコトハ、本法案ハ僅カ其ノ中ノ第二條ヲ中心トシタ一二箇條ガ主體ヲ成シテ居テ、殆ドソレガ全部デアルト云ッテモ宜イ位ナ、所謂極メテ簡明ナル法文ニナッテ居ルト思フ、併シナガラ其ノ中ヲ能ク吟味シマス、非常ニ廣汎ナル之ガ運用ノ範圍ヲ持ッテ複雑多岐ナコトニ實際ニハ互ルノデヤナイダラウカト考ヘマス、サウシテ其ノ運用ノ何ト申シマスカ、役者ニナラレマス方ハ主務大臣ト調整委員會ト、サウシテ業者、此ノ三ツデアルト思ヒマスガ、大體伺ッテ見ルト云フト殆ド大部分ノ機能ハ調整委員會ニ

アルヤウデアリマス、質問應答ヲ致シマシテモ、總テノ問題ガ必ズ調整委員會ノ何ト申シマスカ、防禦陣地ノ中ニ入ッテシマフト、斯ウ云フ譯デアリマス、デアリマスルカラ此ノ調整委員會ト云フモノハ極メテ重要性ヲ持ッタモノダト思フノデアリマスガ、唯法文ノ上デ見マスルト是ガ單ニ諮問機關デアルト云フ風ニナッテ居リマスルノデ、要スルニ此ノ法案ヲ本當ニ運用スルノニハ何處ニムツカシイ點ガアルカト申セバ、調整委員會ノ構成及其ノ運用如何ト云フコトニアルト考ヘマスルノデ、此ノ點ニ付キマシテ若シ十分ナル御成案ガナイトナカノ實際ニ於テ個々ノ問題ニ付テ色々ノ問題ガ起ルノデナイカ、サウシテ此ノ法案ノ價值ヲ半減スルノデナイカ、之ニ反シテ、之ガ旨ク參リマスレバ非常ナ「イラスティック」ナ彈力性ヲ持ッタ法案デアルト考ヘマスノデ、之ニ賛成スル次第デアリマス、ソレカラモウ一ツチョット申上ゲテ置カケレバナラスコトハ、此ノ獨占ノ弊ニ陥ラナイヤウニト云フ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、要スルニ此ノ法案ニ依リマスルト、政府ノ勸告、或ハ命令ノ發動、或ハ裁定ト云フヤウナモノト、ソレカラ各號ノ關係、第二項ノ各號ノ關係ト云フモノハ非常ニ例ヲ考ヘマス

複雑多岐デアルト思ヒマス、併シナガラ政府ノ御説明ニ依リマスルト、是等ノ發動ハナカノノ發動シナイ、大體ニ於テ業者ノ自由意思ヲ出來ルダケ尊重スル、或ハ進シデ之ニ協調スルコトヲ先ヅヤラセテ、サウシテドウシテモ出來ナイ所ヲ政府ガ此ノ法案ノ條文ヲ發動シテ、サウシテヤルノダ、斯ウ云フノデアリマスガ、是ハ非常ニ結構ト思ヒマスガ、一方ニ於テ昨日モ申上ゲマシタ通り、此ノムヅカシイ點ハ今日迄八十「パーセント」大都市ナラバ大都市、或ハ其ノ他ノ特別區域ニ於テ業者ノ、交通業ノ統制ガ成ラムトシテ而モ成ラナイ點ハ何處ニアル、アトノ二十「パーセント」ハドチラニアルカト云ヘバ、ドチラガ吸收サスルカ、吸收サレルカ、重役ノ關係モアリマセウシ、又其ノ結果賠償サレル價格、其ノ二ツガ大キナモノデ、ソレデ出來ナイノガ今日ノ情勢ト思ヒマス、熟セムトシテ熟セヌ點ハ其處ニアル、從ッテ自由意思ヲ尊重シテ行クト云フコトニナリマス結構ナコトデアリマスガ、一方ニ於テ動モスルト價格が高クナッテ、「ルーズ」ニナル、從ッテ運賃ト云フコトニ響イテ來ナイカ、是ハ利用者側カラ見テ餘リ結構デナイト云フヤウナコトガーツ、又統制サレル結果、獨

占ノ弊害、先程モ御話ガアリマシタガ、サウ云フ點ニ於テモ心配スレバ多少心配ヲスル點ガアリマスガ、是ハ政府ノ御説明ニ依リマシテ、他ノ條文ニ於テ十分ノヲ制御シテ行クト云フコトガ出來ルト云フ御話デアリマスカラ、此ノ點ヲ信賴致シマシテ贊成致ス次第デアリマス

○松本勝太郎君 私モ本案ニ贊意ヲ表スル者デアリマス、只一言茲ニ希望ヲシテ置キタイト存ジマス、自動車許可方針ニ付キマシテハ、過去ノ經過ニ鑑ミラレマシテ、此際許可ノ根本方針ヲ確立セラレルコトヲ希望致スノデアリマス、且ツ省營「バス」ハ今後開發ノ上カラモ努メテ専用道路ヲ敷設シテ運行セシメルト云フ御方針ヲ採テ戴キタイノデアリマス、從來地方ニ於キマシテ民間ノ及ブ範圍ノ所ヘモ省營「バス」ヲ經營サレテ居リマスルコトハ、場所ニ依リマシテハ事情已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、又民間デ經營スルヨリモ、省營「バス」トシテ經營サレル方ガ民間ノ喜ブ點モ多イノデアリマス、併シナガラ從來ノ色々例ニ徴シ、經過ニ依リマシテ見マシテモ、如何ニモ鐵道省トシテコセツイテ居ラレルヤウナ氣分ガ致スノデアリマスガ、努メテ民間トノ競争

ハ避ケテ居ラレルノデアリマセウケレドモ、此ノ上トモ此ノ點ニ於テ御注意爲サツテ、先程申シマスル通り、地方ノ開發ノ上カラモ、民間ノ及バナイ程度ノ場所ニ専用道路ヲ敷設セラレテ、地方ノ開發ニ盡サレマスルコトヲ、重ネテ茲ニ希望致シマシテ、本案ニ贊成スル者デアリマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 他ニ御發言ゴザイマセヌカ……政府ノ方デ何カ御發言ゴザイマセヌカ

○國務大臣(中島知久平君) 色々慎重御審議下サイマシテ誠ニ感謝ニ堪ヘマセヌ、色々御希望ノ點ガアリマシタガ、御希望ノ點ニ付キマシテハ十分御趣旨ニ適フヤウニ、研究努力致シタイト考ヘマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 然ラバ御異議ガナケレバ討議ハ是デ終結ト致シマス、直チニ採決ニ入リタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ陸上交通事業調整法案ヲ議題ト致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔議員起立〕

○委員長(伯爵橋本實斐君) 全會一致ト認

メマス、依ッテ本案ハ可決致シマシタ、長々御苦勞デゴザイマシタ、本特別委員會ヲ是ニテ散會致シマス

午前十一時二十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵橋本 實斐君
副委員長 男爵近藤 滋彌君
委員 侯爵西郷 從德君
侯爵中山 輔親君
子爵曾我 祐邦君
子爵秋元 春朝君
子爵秋田 重季君
永田秀次郎君
男爵福原 俊丸君
男爵大藏 公望君
八田 嘉明君
藤沼 庄平君
丸山 鶴吉君
吉田羊治郎君
鈴木 幸作君
松本勝太郎君
風間八左衛門君

國務大臣

鐵道大臣 中島知久平君

政府委員

內務政務次官	勝田 永吉君
內務省地方局長	坂 千秋君
內務省土木局長	安藤狂四郎君
內務省計畫局長	松村 光磨君
鐵道政務次官	田尻 生五君
鐵道省監督局長	鈴木 清秀君
鐵道省運輸局長	山田新十郎君
鐵道省經理局長	池井 啓次君

昭和十三年三月二十二日印刷

昭和十三年三月二十三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局